

先人たちの暮らしと思想



1 The lives and thoughts of the predecessors



2

私たちに語りかける先人たち

私たちが今ここにいるのはなぜでしょう。理由などない？ 果たしてそうでしょうか。

私たちの遠い祖先から父母までが、一生懸命生きてきたからではないでしょうか。

私人でも地域でも、知りたいのなら、その生い立ちから現在までを紐解かなくてはなりません。

田村市を知るには、その歴史を知らなければならぬのです。

個人でも地域でも、知りたいのなら、その生い立ちから現在までを紐解かなくてはなりません。

田村市を知るには、その歴史を知らなければならぬのです。

旧大越娯楽場
建築学者今和次郎の設計により、大正15年(1926)に建築された建造物。簡や葉たばこの共同集出荷場として使用され、農繁期になると住民の娯楽施設として芝居や演芸などが上演されました。建設当時の姿を保つ、数少ない今和次郎の作品としても貴重なものです。



3 絵馬「馬籍の図」
日渡神社に奉納されている大きな2面の絵馬。銘には嘉永2年(1849)と見えます。三春領西北部の26村880余頭の飼育馬がさまざまなポーズで描かれ、村名や飼主名も記されています。



4 入水三十三観音
入水寺裏山の急な坂を登ったところにある三十三観音で、約150年前に鍾乳石で彫られた磨崖仏です。寺の信徒が西国三十三観音札所を巡拝した記念に、各札所の土を持ち帰って像の下に埋めたという記録があります。



6 御鉄鉢
大鏡矢神社に保管されている円形の深鉢で、仏具として使われました。銘文が口縁部に、流水文と唐草文が胴部にそれぞれ陽鑄され、銘文から文明19年(1487)のものであることが分かります。国認定重要美術品。



5



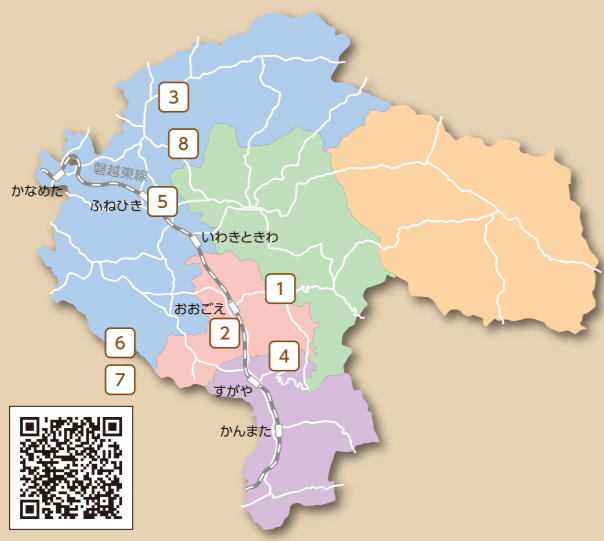
8 前田遺跡
縄文時代中期後半から末にかけての家の跡が50軒以上もある集落の遺跡。敷石住居や複式炉、土器なども発掘されています。県指定史跡。



佐久間庸軒
幕末から明治にかけての和算家。現在の田村市船引町石森に生まれました。最上流和算を究めるとともに、測量術にも長じ、明治政府の地図作製などに携わりました。職を辞してから郷里に塾を開き、2,000人以上の後輩を輩出しました。



7 堂山王子神社
室町時代に建立された禅宗様式の荘厳な神社。もとは堂山寺の観音堂でしたが、明治3年(1870)に廃仏毀釈の影響で現在の名称に改められました。本殿は棟札8枚と合わせて国指定重要文化財に指定されています。



田村市には、私たちの先祖が営んできた生活や、その中で生まれた思いの痕跡が、数多く残っています。

そういった先人たちの行跡は、私たちに何かを語りかけてくれることでしょう。そして私たちもまた、子孫に何かを残しているのです。